

2023年2月期 第2四半期決算

(2022年3月1日～2022年8月31日)

2022.9.29



2023年2月期
第2四半期 決算概要



 YE DIGITAL

2022年度上期実績、通期業績予想

2022年度上期実績

- ビジネスDX事業では、安川電機DXの導入で培ったDX化推進力の他社への展開を加速するために2022年7月に「ビジネスDXリーディングセンター」を開設しました。
- AI・IoT事業では、畜産、物流分野向けの新ソリューション（Milfee、MMLogiStation）の市場展開を強化しました。
- サービスビジネスにおいて、ビジネスDX事業とAI・IoT事業との連携強化や新たな付加価値を創出するためITカスタマサービスセンター「Smart Service AQUA」を2022年6月に移転・拡張しました。
- 売上高は70億83百万円（対前年同四半期比5.5%増）となりました。

利益面では、事業拡大に向けた新規設備投資や健康保険者向けシステム構築での開発計画の遅れによる採算悪化等により、営業利益1億39百万円（同66.0%減）、経常利益97百万円（同70.2%減）、また、確定給付年金から確定拠出年金へ制度移換したことに伴う特別利益計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4百万円（同94.0%増）となりました。

2022年度通期業績予想

- 上期は受注高が、88億円（対前年同四半期比24.3%増）と順調に推移し、その結果、期末受注残高は、68億円（同24.4%増）となりました。
- 下期は、上期に出遅れた畜産分野向け新ソリューションや、健康保険者向け次期システム構築などにより、売上拡大を図ります。
- ビジネスDXについても好調が継続しており、通期で大幅増収を目指します。
- 上期末の高水準の受注残高を下期に確実に売り上げるにより、2023年2月期通期見通しは2022年3月29日公表の予想値を達成する見通しです。

2022年度上期 実績

単位：百万円	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	増減 (%)	2022年度 通期 業績予想	進捗率 (%)
売上高	7,083	6,714	+ 5.5%	15,000	47.2%
うち ビジネスソリューション	5,228	4,804	+ 8.7%	10,800	48.4%
うち IoTソリューション	1,854	1,905	△2.7%	4,200	44.2%
営業利益	139	411	△66.0%	750	18.6%
経常利益	97	325	△70.2%	650	14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	304	156	+ 94.0%	600	50.8%
1株当たり当期純利益金額：円	16.79	8.66	—	33.10	—
配当金（中間・期末）	5円	5円	—	10円	—

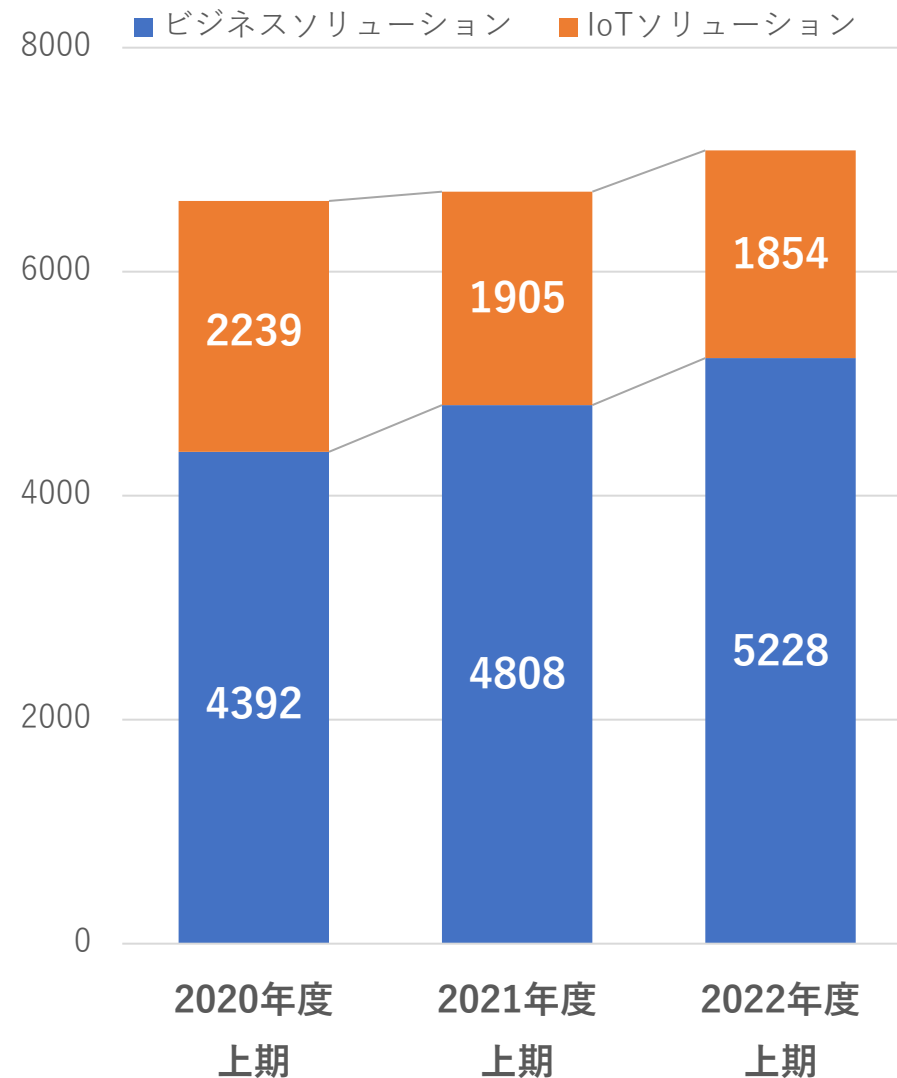
2022年度上期 事業別の概要

ビジネスソリューション

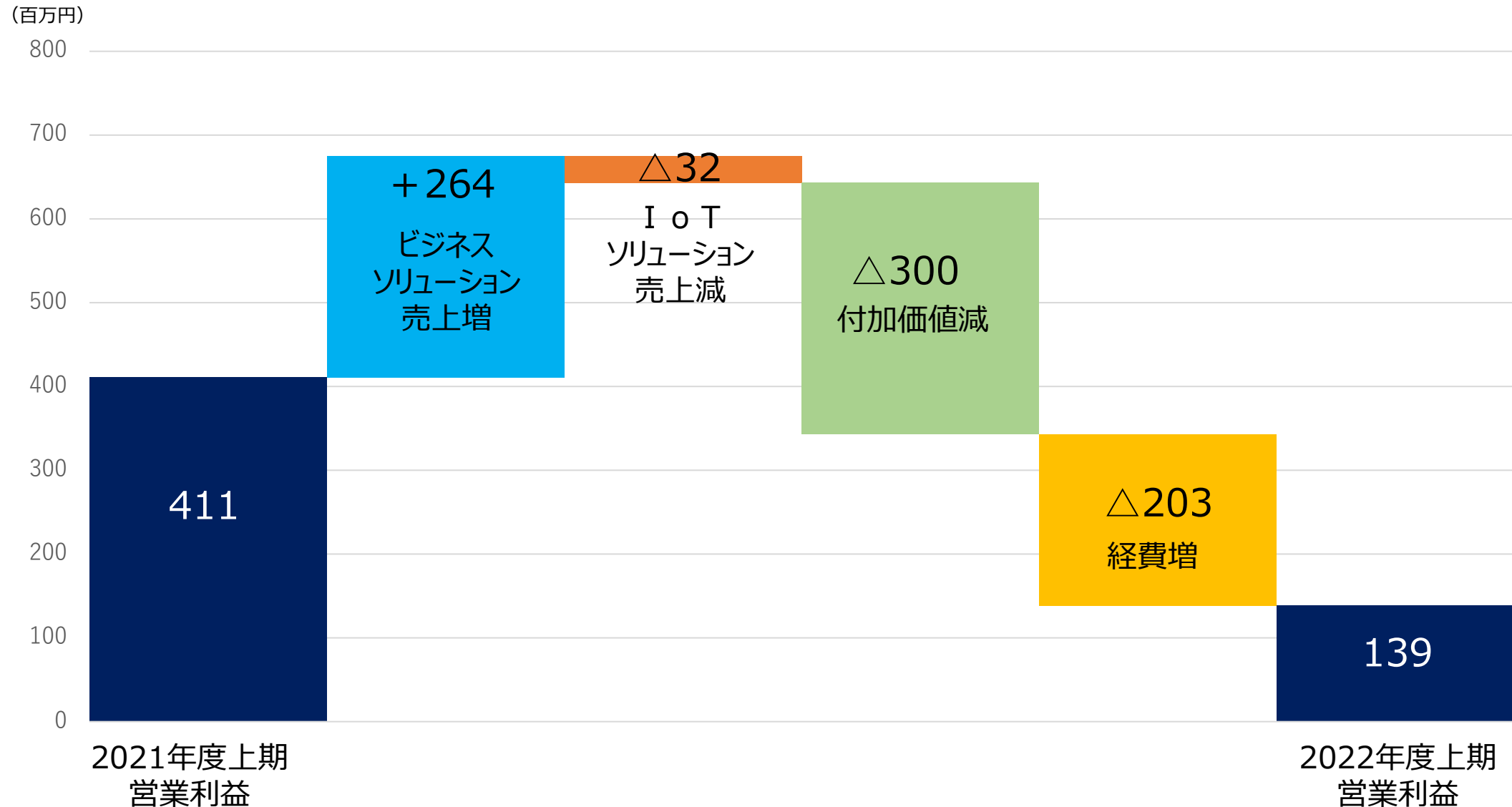
- ERPソリューションは当社プライムでのビジネスDX推進・構築が引き続き好調でした。
- 移動体通信事業者向け開発は堅調に推移しました。
- 健康保険者向けシステム構築は開発計画の遅れ等により前年同期に比べ減少しました。
- 売上高は52億28百万円（対前年同四半期比8.7%増）となりました。

IoTソリューション

- スマートロジスティクス事業は新ソリューションの拡販により伸張しました。
- 畜産分野では供給面の制約により販売出遅れがあったものの前年同期に比べ増加しました。
- 文教分野向けインターネット・セキュリティ関連製品や食品加工向けAI・IoT製品は減少しました。
- 売上高は18億54百万円（同2.7%減）となりました。



営業利益増減要因分析（2021年度上期 → 2022年度上期）



2022年度上期 貸借対照表 (対前連結会計年度末比)

単位：百万円	2022年 8月31日残高	2022年度 2月28日残高	増減額	増減理由
流動資産	7,198	7,040	+ 157	受取手形、売掛金及び契約資産 1 億99 百万円増、その他 2 億74百万円増 現金及び預金 1 億79百万円減、仕掛品 1 億32百万円減
固定資産	3,693	3,044	+ 649	退職給付に係る資産 4 億35 百万円増、有形固定資産 3 億59 百万円増、繰延税金資産 1 億36百万円減、
資産合計	10,891	10,084	+ 806	
流動負債	3,597	2,622	+ 975	支払手形及び買掛金71百万円増、未払法人税等35百万円増、 その他 9 億円増 未払費用20百万円減
固定負債	2,296	2,862	△566	その他 6 億41百万円減 資産除去債務64百万円増
負債合計	5,893	5,484	+ 409	
純資産	4,997	4,599	+ 397	利益剰余金 3 億19百万円増、新株予約権40百万円増、退職給 付に係る調整累計額27百万円増
自己資本比率	43.2%	43.1%	+ 0.1%	
ROE	—	9.7%	—	

2022年度上期 キャッシュフロー

単位：百万円	2022年度 上期実績	2021年度 上期実績	増減額	増減理由
現金及び現金同等物の期首残高	2,735	2,648	+87	
営業活動による キャッシュフロー	324	793	△469	退職給付制度改定益3億94百万円、棚卸資産の増加1億29百万円、法人税等の支払70百万円、税金等調整前四半期利益4億90百万円、売上債権の減少2億16百万円、減価償却費1億38百万円
投資活動による キャッシュフロー	△414	△73	△340	有形固定資産の取得による支出3億34百万円、無形固定資産の取得による支出75百万円
財務活動による キャッシュフロー	△93	△94	+0	配当金の支払額90百万円
現金及び現金同等物の期末残高	2,555	3,275	△719	

2022年度 通期業績見通し

単位：百万円

	2022年度計画	2021年度実績	増減（％）
売上高	15,000	13,725	+9.3%
うち ビジネスソリューション	10,800	10,016	+7.8%
うち IoTソリューション	4,200	3,709	+13.2%
営業利益	750	842	△11.0%
経常利益	650	723	△10.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	600	403	+48.5%
1株当たり当期純利益金額：円	33.10	22.28	+10.82
年間配当金（うち中間配当金）	10円(5円)	10円(5円)	—

中計方針
遂行状況



 YE DIGITAL

ビジネスDXリーディングセンター 7月オープン



グローバル水準のビジネスDX推進力でお客様のDX化をリード
最新技術を活用したバーチャルなプロジェクトの運営を実現

健康保険者向け次期システム、8月プロジェクトスタート



健康保険者向け次期システム、8月プロジェクトスタート
開発体制と品質の強化で、計画どおりプロジェクト完遂を目指す

MMLogiStation 大手からの引き合い加速



大手企業が活用する倉庫自動化での採用増加
物流業務の効率化で導入企業の競争力アップに貢献

Milfeeの量産スタート



中国コロナ禍により、市場投入3か月遅れの7月量産開始
下期に売上・受注の早期リカバリーを目指す

Smart Service AQUAの移転、拡大

サポートサービス拠点拡大と充実
IoT系や独自サービスなど、ビジネス領域を拡大
環境と体制強化で、カスタマーディライトの実現を目指す



若手社員（入社1年目～3年目）の育成開始

個々人に沿う育成で、成長マインドとスピードをアップ
若手社員の飛躍的な成長と、組織全体の底上げを目指す

新会計基準に対応した運用定着

新会計基準(収益認識基準)対応ルール・プロセス定着
新会計基準対応システムの安定稼働によるガバナンスを実現

 デジタルで、
暮らしに明るい変革を。

